

鉄骨工事 Q&A	デッキ・スタッド	技能資格	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 頭付きスタッド、鉄筋スタッドの溶接技能者の資格と条件は何か？

A.

スタッド溶接に従事できる溶接技能者は、(一社)スタッド協会のスタッド溶接技術検定試験に合格した有資格者でなければなりません。この資格は、スタッド協会が統一した試験を行い、技術証明書として発行されています。資格にはA級、B級およびF級(2012年から実施)があり、各資格の作業範囲は下表に示す内容で規定されています。

一方、鉄筋スタッド溶接の資格は、特にありませんので下表を参考にするとよいと思います。

表からわかるように、横向きの場合はスタッドの軸径は16mm、下向きの場合はスタッドの軸径は22mm(F級を持っていれば25mm)が最大となっています。

なお、下記に示す値を超える軸径を要求される場合は、鉄骨工事担当者とは十分な検討を行い、作業環境、機器、溶接条件等をより厳しく管理し、技量試験を行い溶接技能者の技量の確認を行った上で十分注意して施工しなければなりません。

技術資格及び作業範囲

級	資格の種別	作業範囲
基本級(下向)	A級	スタッド軸径22mm以下の下向き溶接
専門級(全姿勢)	B級	スタッド軸径16mm以下の横向き溶接
		スタッド軸径16mm以下の上向き溶接
		スタッド軸径22mm以下の下向き溶接
専門級(太径)	F級	スタッド軸径25mm以下の下向き溶接

出典：(一社)日本建築学会_鉄骨工事技術指針・工事現場施工編、2018
(一社)スタッド協会 ホームページ